

沖縄県試験研究機関整備の助成に要する経費（継続）

【48（48）百万円】

事業のポイント

沖縄県の農林水産業の発展に資する技術の向上に必要な試験研究を行うための施設・備品を整備します。

（亜熱帯気候である沖縄特有の水稲品種・遺伝資源の例）

水稲品種：「チヨニシキ」、「やえみのり」、「ちゅらひかり」

畜産：「アグー」

「アグー」とは、沖縄で飼われていた在来の豚の呼称であり、肉質に優れた特性を持つ沖縄県固有の貴重な遺伝資源で、育成率が通常豚よりも低いため、育成率の向上等効果的な繁殖管理技術の確立が求められています。

政策目標

沖縄県農林水産業に係る試験研究の促進

<内容>

亜熱帯気候である沖縄県に適合する新品種の育成や栽培・管理技術の開発、「アグー」など沖縄県固有の貴重な遺伝資源を活用した農林水産物の安定的生産技術の確立・普及に必要な試験研究を推進するため、以下の施設・備品を整備します。

（1）沖縄県農林業関係試験研究機関施設備品整備費

（ア）農業関係試験研究機関施設費

- ・ 亜熱帯気候を活用した超早場米の安定多収技術の開発等のための試験研究用水田

（イ）農業関係試験研究機関備品整備費

- ・ 生活用水・農業用水のほとんどを地下水に依存している宮古島において、カルシウム含量やアルカリ度が高い地下水に対応した肥培管理技術を確立するための土壌及び地下水分析システム
- ・ 周年放牧が主体となっている等、飼養環境が他地域と異なる八重山地方の放牧牛における必須ミネラル欠乏症等の実態把握と治療法の確立等のための必須ミネラル及び有毒物質測定システム
- ・ 泡盛粕、パイン粕等を家畜飼料に活用した場合の肉質、香気等に与える影響を解明し、低コスト・高品質沖縄ブランド畜産物の生産技術確立のための脂肪酸・香気成分高感度定量分析装置 等

（ウ）林業試験場備品整備費

- ・ 市場での評価の高いクロアワビタケの培地組成を改善し、増収効果を得るためのきのこ菌糸伸長試験用低温恒温器 等

（2）沖縄県水産試験場整備費

- ・ 養殖モズクの成熟度や品質の評価指標であるモズク藻体の色を定量的に測定し、モズク養殖技術の改良に資するためのポータブル分光測色計 等

【補助率：施設9.5/10 備品1/2】

<実施主体> 沖縄県

<実施期間> 平成14年度～平成23年度

【担当課：農林水産技術会議事務局先端産業技術研究課 03-3502-5530(直通)】